

令和7年度 第2回

地域包括支援に関する会議

資料 3

2 報告

(3) 「北九州市しあわせ長寿プラン」の進捗状況について

北九州市しあわせ長寿プランの目標・施策の方向性と担当分野別会議

【ビジョン】 高齢者が健康で生涯現役を目指し、自分らしく安心して、
人生１００年時代を幸福に暮らすことができるまち

目標	施策の方向性	メインで 議論する 分野別会議名
①目指そう 活力ある100年 ～健康長寿～	1 人や社会とつながり続け、 役割をもって活躍できる機会の創出	介護予防・活躍推進に 関する会議
	2 生涯を通じた健康づくり・介護予防	
②人情息づく支えあいのまち ～地域共生社会～	1 人のつながりが幸せや安心を生む 支えあいの地域づくり	地域包括支援に関する会議
	2 認知症にやさしいまちづくり (北九州市認知症施策推進計画 (北九州市オレンジプラン))	認知症施策推進に関する会議
	3 尊厳のある自分らしい暮らし を守る権利擁護の推進 (北九州市成年後見制度利用促進計画を含む)	地域包括支援に関する会議
	4 介護者(ケアラー)のサポート	・地域包括支援に関する会議 ・認知症施策推進に関する会議
③選べる自由が感じられる 多彩なケア ～安全・安心・自己決定～	1 不安を安心へ	地域包括支援に関する会議
	2 介護サービス等の提供体制の充実 及び介護保険制度の安定した運営	介護保険に関する会議
	3 安全・安心に暮らし続けられる 環境づくり	全分野別会議

北九州市しあわせ長寿プラン「成果指標・達成目標」進捗一覧

		指 標	目 標 (令和8年度)	進捗状況 令和5年度		進捗状況 令和6年度	単位	出典等
目標 2 人情思づく支えあいのまち ～地域共生社会～								
施策の方向性1 人のつながりが幸せや安心を生む 支えあいの地域づくり								
	1 見守り・支えあいのネットワークづくり							
	成果	困ったときに助けあえる人が近所にいる高齢者の割合	30.0%				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
	達成	いのちをつなぐネットワーク協会員数	90	84	→	87	団体	実 績
		いのちをつなぐネットワーク活動件数（ネットワーク構築、個別相談、安否確認等）	現状水準の維持以上	2,276	→	1,970	件	実 績
	2 地域のウェルビーイングを創出する人材の育成							
	成果	「積極的に社会貢献したい」または「自分のできる範囲で社会貢献したい」高齢者の割合	増 加				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
	達成	ボランティアコーディネート件数（再掲）	5,100	4,801	→	4,918	件	実 績
		ボランティア研修の受講者数（再掲）	3,000	1,956	→	1,263	件	実 績
		年長者研修大学の修了生の地域活動への参加状況	47.0%	42%	→	45.5%	%	修了生アンケート
	3 多様なつながりが力を生む地域づくり							
	成果	ボランティアのグループへ参加した人の割合					%	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般・要支援高齢者）
	達成	福祉に関する地域づくり計画の策定校（地）区数	155	123	→	141	(地)区	実 績
	4 孤独・孤立や多様な困難を抱える高齢者等の安心を支援							
	成果	重層的支援体制整備事業の実施区	7	2	→	4	区	実 績
	達成	孤独・孤立対策等連携協議会のメンバー数	30	15	→	15	団体	実 績
	施策の方向性3 尊厳のある自分らしい暮らしを守る権利擁護の推進							
	1 成年後見制度の利用推進（北九州市成年後見制度利用促進計画）							
	成果	成年後見制度について「よく知っている」「少し知っている」人の割合	増 加				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
	達成	中核機関における成年後見制度に関する相談件数	700	516	→	641	件	実 績
	2 虐待防止対策の推進							
	成果	「虐待などに至る危険性はない」と感じている介護者の割合	増 加				%	高齢者等実態調査（在宅高齢者の介護者）
	達成	虐待の相談・対応件数	350	372	→	408	名	実 績
		高齢者・障害者虐待防止研修の参加職員数	60	65	→	83	名	実 績
	施策の方向性4 介護者（ケアラー）のサポート							
	1 介護者の不安に寄り添う							
	成果	家族の介護について「負担である」と考える人の割合	減 少				%	高齢者等実態調査（在宅高齢者の介護者）
	2 家族介護者の生活支援							
	成果	介護講座を今後活かせると回答した人の割合	100%	98.0%	→	97.0%	%	介護講座参加者アンケート
目標3 選べる自由が感じられる多彩なケア ～安全・安心・自己決定～								
施策の方向性1 不安を安心へ								
	1 地域包括支援センターの体制整備							
	成果	地域包括支援センターの認知度	増 加				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
	達成	地域ケア個別会議の開催回数	現状維持	580	→	568	回	実 績
	2 在宅医療・介護連携の強化							
	成果	A C P（人生会議）をしている人の割合	増 加				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
	達成	とびうめ@きたきゅう登録者数	70,000	44,205	→	50,265	名	実 績
		かかりつけ医を決めている人の割合	87.0%				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
		在宅等（自宅・老人ホーム）での死亡割合	増 加	—	→	22.7%	%	人口動態統計
		訪問看護（介護保険）を受けた利用者数	増 加				人	地域包括ケア見える化システム（人口10万にあたり）※指標設定時は公表されていたが、現在非公開のため
	3 地域リハビリテーションの充実							
	成果	手段的日常生活動作（IADL）の能力が高い人の割合	増 加				%	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般・要支援高齢者）
	達成	運動機能の低下（歩行、転倒の状態）リスクの高い人の割合	38%				%	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（一般・要支援高齢者）
		地域リハビリテーション協力機関数	80	40	→	55	か所	実 績
		地域リハビリテーションに関する研修会が日々の業務に活かせると回答した割合	100%	93.4%	→	97.3%	%	実 績
		介護実習・普及センターの相談支援件数	3,350	2,863	→	2,630	件	実 績

北九州市しあわせ長寿プラン「成果指標・達成目標」進捗一覧

		指 標	目 標 (令和8年度)	進捗状況 令和5年度		進捗状況 令和6年度	単位	出典等
		リハビリテーション専門職が地域ケア会議や地域活動に出向いた回数	400	498	→	513	回	実 績
		4 一人暮らしの高齢者の安心を支援						
	成果	終活についてすでに準備している高齢者の割合	増 加				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
		終活相談対応件数（相談内容ごとの総件数）	300	158	→	195	件	実 績
	達成	セーフティネット住宅登録戸数（再掲）	6,000	5,883	→	5,882	戸	実 績
施策の方向性3 安全・安心に暮らし続けられる環境づくり								
		1 暮らしやすい多様な住まいづくりを応援						
	成果	現在住んでいる住宅で「何も問題は感じていない」人の割合	増 加				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
		セーフティネット住宅登録戸数	6,000	5,883	→	5,882	戸	実 績
		高齢者の居住する住宅の一定のバリアフリー化率	75% (令和14年)	43.9% (令和5年)	→	—	%	住宅・土地統計調査
		高齢者人口に対する高齢者向けの住まいの割合	4%	4%	→	4.3%	%	実 績
		住宅の構造（段差・階段）や設備（便所・浴室）が使いにくい人の割合	減 少				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
		2 外出したくなる環境づくり						
	成果	外出や移動のときに「特に困っていることはない」人の割合	増 加				%	高齢者等実態調査（一般高齢者）
		シルバーひまわりサービスの利用件数	4,900	4,610	→	4,628	件	実 績
	達成	特定道路のバリアフリー化整備率	100%	98%	→	98.0%	%	実 績
		運転免許証自主返納数	3,000	2,748	→	3,065	件	実 績
		3 安全・安心な生活を守る						
	成果	避難行動要支援者の個別避難計画作成率	85%	68%	→	68.8%	%	実 績
		地区防災計画の策定	58	41	→	42	件	実 績
	達成	高齢者に対する消費者被害防止の啓発講座受講者数	1,000	1,326	→	1,534	名	実 績
		介護施設における避難確保計画の作成率	100%	75.5%	→	76.8%	%	実 績
		あんしん通報システム新規設置数	増加	389	→	343	件	実 績